

NewAngle

4-Skills Training Book Basic

Table of Contents

Introduction : How to use this book?	P2~3
Chapter 1 : Traveling Around	P4~7
Chapter 2 : Robots and Electronic Devices	P8~11
Chapter 3 : History and Things in the Past	P12~15
Chapter 4 : Families and Lifestyles	P16~19
Chapter 5 : Nature, Weather and Environment	P20~23
Chapter 6 : Habits, Hobbies and Sports	P24~27
Chapter 7 : Customs, Rules and Obligations	P28~31
Chapter 8 : Countries, Regions and Cities	P32~35
Chapter 9 : Language and Reading	P36~39
Chapter 10 : Movies, Art and Music	P40~43
Chapter 11 : Science and Math	P44~47
Chapter 12 : High School and College Life	P48~51
Chapter 13 : Health and Medical Care	P52~55
Chapter 14 : Business-Related	P56~59
Chapter 15 : Future Plans and Prospects	P60~63
Appendix : Pronunciations	P64

【CEFR対応表(想定)】

A1	A2	B1	B2	C1	C2
----	----	----	----	----	----

この教材はCEFR A2を中心としたレンジを
カバーする想定で制作されています。

— 本書の特長 —

本書は、今後の大学入試、ひいては社会に出ても通用する英語の素地を作るため、知識の整理だけでなく、実践に近い英語の演習ができるテキストです。英語の4技能(読む/書く/聞く/話す)をバランスよく演習できるように構成するとともに、とくにアウトプットを行うアクティビティで実際に英語を使う場面を想定しやすいよう、各章の課題は、特定のトピックをベースとして作成しています。

トピック選定に際しては、過去に出題された入試問題例や、各種英語検定試験の出題内容を参考にしているため、入試対策にも、実用的な英語力向上にも適しています。

各章で取り組むアクティビティとその考え方については次ページをご覧ください。

*All English!*

P4以降は、問題文も含め全て英語です。今後の英語入試でも英語での出題が増えてくると予測されますので、本書で色々なパターンに慣れましょう。指示内容の理解に不安がある場合は、解答解説のP2～3の「本書の使い方」を参照してください。

*Skill-Training*

各アクティビティにおいては、英語の4技能(読む/書く/聞く/話す)のそれぞれ、もしくは2つ以上の組み合わせで練習を行います。実際に英語を使う場面では、聞くだけ、話すだけなど種類だけのスキルで完結することはほとんどありません。授業のノートを取る時でさえ、聞いた内容を書いているのです。

*Grammar Reference*

本書は、弊社発行の文法参考書『New Angle ニューアングル総合英語』に対応しているため、問題を解き進める中で、文法などで分かりづらい点があった場合にも、すぐ調べられるように工夫しています。例えば躓きやすいところは、解答解説に「⇒ New Angle p.436」のように参照記号を付けています。



各章Q1～Q4のアクティビティに必要な英文の音声はWEB上に用意しています。各ページのQRコードからアクセスするか、PC・スマートフォン等から <https://www.kyo-kai.co.jp/n4b/E20/top.html> へアクセスし、音声ファイルを選んでお聞きください。 ※WEBサイトへアクセスする際の通信料はお客様負担となります。

本書のアクティビティと考え方

本書の基本アクティビティは①～⑦で示している以下の7つです。入試や英語の実際の使用に直結するものもあれば、そうでないものもあります。しかし、下の解説にあるように、どのアクティビティも、それら一つ一つには取り組んでいただく意味があると考えています。ぜひ、各アクティビティの目的を意識しながら取り組み、今持っている知識を様々なスキルの組み合わせで活用し、英語を使う際の感覚を体験しましょう。



① Reading Aloud (音読) : 【読む/話す の複合スキル】

まとまった文章を声に出して音読する課題です。正しく発音しながら音読できる速度と、英文を読解できる速度との間には関連性があると言われています。また、音読はほとんどの検定試験で問われるので、練習の価値があります。



② Finding Mistakes (間違い探し) : 【読む/聞く の複合スキル】

英語の音声を聞きながらテキストを読み、聞こえてくる音声とテキストとの違いを指摘する課題です。英文を読む際の広い視野が求められ、それは普通の読解にも使えるスキルです。



③ Dictation Practice (書き取り) : 【書く/聞く の複合スキル】

音声を聞き、単語や文を書き取る課題です。聞こえた通りにどれだけ書き取れたかで、聞き取れなかったところがどこだったのか、それが英文の理解にどのように関係していたのかを突き止めることができます。また、英語でメモをとる練習にもなります。大学入試のリスニングでは、1回しか聞けない問題もあります。社会に出てでも使える能力なので、英語でメモするスキルはしっかり身につけましょう。(★のついている問題は、比較的難度の高い問題を表します。)



④ Repeating Practice (口頭反復) : 【聞く/話す の複合スキル】

音声を聞き、その通りに口頭で繰り返す課題です。聞こえた通りにリピートできることは、その表現を身につけ、考えずに自然に使えるようになるための第一歩です。発音の確認も兼ねて積極的に練習しましょう。(★のついている問題は、比較的難度の高い問題を表します。)



⑤ Describing Pictures (写真の説明) : 【話すスキル】

写真を見て情報を読み取り、説明する課題です。写真や絵を見て説明する問題も、様々な英語の検定試験で出題されます。意見を考えて話せるようになるのが最終目標ですが、まずはその手前で、目の前の場面を言葉で説明してみましょう。



⑥ Writing a Short Essay (自由英作文) : 【書くスキル】

身近なトピックについて、自分の意見を書く課題です。課題文の内容について自分なりに考え、自由に表現しましょう。自由に書けることは自由に話せることにつながります。



⑦ Arranging Words (知識確認) : 【文法/語彙】

語句の並べ替えを通して、文法知識を確認する課題です。スキルトレーニングを行う上で、知識の整理は非常に大切です。正しい文法/語彙の使い方もチェックしましょう。入試対策にも使えるよう、日本語なしの並べ替え問題を中心に出版しています。